



みんなの病院敷地内にて 八重寒紅（梅）

Topics

- 診療科紹介 整形外科
- 高松市立みんなの病院DMAT職員派遣報告
- 新たに1名の認定看護師が誕生しました
- 地域医療・患者支援センターからのご案内
 - ・第81回地域医療連携セミナー開催のご案内

診療科紹介

整形外科

健康寿命延伸のため、 整形外科が果たす役割

厚生労働省の発表によると、2022年の日本人の平均寿命は男性81.05年、女性87.09年とされ、一方で『健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間』とされる健康寿命は男性72.68歳、女性75.38歳と、約10年の差が認められています。

『健康上の問題で日常生活が制限される』原因として整形外科領域の疾患が注目される中、我々整形外科は大きな役割を果たしています。

実際、介護が必要になる原因として、骨折転倒、関節疾患などの整形疾患が26.3%にも及びます。現代では人生100年が珍しくなくなり、健康寿命の延伸がますます重要となっています。この課題に対処するためには、整形外科が果たす役割は大きな意味を持っています。

当院では、高齢者への骨折手術や人工関節置換術においても積極的に取り組んでいます。

100歳を超える超高齢者への骨折手術や、90歳以上の患者様でも健康な生活を取り戻すための人工関節置換術など、患者様一人ひとりに適した治療法を提供しています。これらの手術の実施件数は増加しており、今後もその傾向は加速すると考えられます。

我々整形外科は、確立された治療法を基礎に、最先端の知識と技術を組み合わせ、患者様に対して安全で確実な医療を提供することに尽力しています。



患者様一人ひとりに合わせた適切な治療計画の立案や、手術後のリハビリテーションプログラムの提供など、総合的なアプローチを通じて、患者様の健康寿命を最大限に延ばすお手伝いをしています。

地域社会との連携を深め、明るい高齢社会の実現に向けて、健康な生活をサポートしていくために、困りごとやご質問があれば、いつでもお気軽にご相談ください。

診療内容

▶ 関節疾患

変形性関節症や関節リウマチ、骨壊死などの疾患に対して治療を行っています。手術に関しては主に人工関節置換術を行っています。ナビゲーションシステム（図1）を用いて手術を行うことで、より正確で安全な手術が可能となっています。特に人工膝関節置換術に関しては膝関節の障害の程度に応じて様々なタイプの人工関節（人工膝関節単顆置換術（UKA）（図2）、人工膝関節全置換術（TKA）（図3））を使い分けて使用します。



（図1）

▶ 骨折

四肢の骨折、外傷一般を扱っています。近年高齢化社会を迎え、大腿骨近位骨折（頸部骨折、転子部骨折）、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折、脊椎圧迫骨折などといった高齢者の比較的軽微な外力による骨折が増加しています。特に大腿骨近位部骨折は寝たきりの原因となる代表的な骨折です。それぞれに応じた適切な治療を、できる限り早期に行うことで、健康寿命の延伸に努めます。また骨粗鬆症の治療も積極的に行ない、骨折の予防を行っています。骨密度の計測、レントゲン撮影などの精密検査をして、骨粗鬆症の診断を行い、年齢や性別、骨粗鬆症の程度によって患者様に合わせた治療を行います。

▶ 脊椎脊髄疾患

詳細な問診、神経学的所見に加え、3.0テスラMRI、CT、電気生理学的検査など最新の診断装置を用いて確実な診断を心がけています。香川大学医学部附属病院の脊椎専門医を週1回招聘し外来を行なっているため、より専門的な治療を行うことも可能です。

（文責 吉田 雄介）



（図2）



（図3）

外来担当表

	月	火	水	木	金
午前	伊達 直人	齊藤 仁彦 岡 邦彦	吉田 雄介 山本 修士	齊藤 仁彦	吉田 雄介 磯崎 竜一
午後	手術・検査（要問い合わせ）				

高松市立みんなの病院



DMAT職員派遣報告



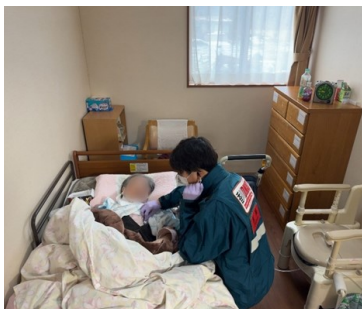
石川県能登半島地方で発生した地震による被災地域への災害医療支援のため、1月25日より派遣されていました「みんなの病院DMAT隊員」（医師1名、看護師2名、業務調整員2名の計5名）が、無事、1月30日に帰院しました。



被災地での活動は、能登町参集拠点本部から指示を受け、高齢者施設やグループホームを訪問し、施設の管理者に状況をヒアリングしながら、被災者への診察や介助を中心に行いました。



普段とは異なる厳しい環境かつ当院としては初めてのDMATの被災地派遣でありましたが、微力ながらも災害医療支援活動の一端を担えたかと思えます。



被災地への思いを馳せながら、今後想定されている南海トラフ地震等に対し、災害拠点病院の責務を果たしていきたいと思います。

新たに1名の認定看護師が誕生しました

皮膚排泄ケア認定看護師 香川 陽

「皮膚・排泄ケア」は、創傷のケア、人工肛門のケア、排泄のケアという広い領域を指します。特に褥瘡は医療者にとって馴染みのある疾患ですが、その処置方法は様々です。医師とカンファレンスを重ねながら、正常な創傷治癒過程に戻すために最適な処置方法やケアの提案を行っています。また、人工肛門のケアや排泄ケアは生理的機能だけではなく、患者様のQOLに直結した重要な役割があります。患者様が抱える排泄の悩みを少しでも軽減出来るよう、生活の中で実現可能なケア方法や具体的な工夫を提案します。

今後は地域医療支援病院の認定看護師として、習得した知識や技術を用いて地域に貢献していきたいと考えています。



地域医療・患者支援センターからのご案内



第81回地域医療連携セミナー (救急科)

日時 令和6年4月17日(水) 19時～

演題1 「胸痛、呼吸困難の救急症例」

講師 循環器内科 医長 藤原 美佳

演題2 「呼吸器救急疾患」

講師 呼吸器内科 副医長 小川 瑛


お申込みはこちらから→



FAX予約を
お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
F A X	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。